No.16
2019.4

科学するよろこびとたのしさを
金沢子ども科学財団だより

金沢市長土塀青少年交流センターに移転します

金沢市は、都市像「世界の交流拠点都市金沢」を実現するため、平成25年度～34年度の10年間に実施すべき施策をとりまとめた「重点戦略計画」を策定しています。その計画を重点的に取り組む施策の一つに、「生涯学習施設の再編と市民交流センターの開設」があり、①中央公民館長町館を再整備し生涯学習の拠点となる新たな中央公民館の開設、②中央公民館彦三館を機能充実し高齢者交流の拠点施設に、また、③長土塀交流館を青少年交流の拠点施設にするなど、まちなか旧小学校校舎等の既存のインフラを活用して、青少年、高齢者などを核とした市民の交流拠点を整備するとしています。

平成26年に長土塀青少年交流センター（仮称）整備検討懇話会が設立され、平成27年に基本設計が、平成28年に実施設計・測量・地質調査が行われました。平成29年から中央市民体育館（長町3丁目）に隣接した敷地において建設工事に着手され、平成30年に4階建てのセンター建物が完成し、長土塀交流館（旧長土塀小学校校舎）の解体と外構工事の完成を待って、2019年7月にセンターオープン供用開始となります。その基本コンセプトは「青少年が気軽に集い、主体的に学び、相互に交流するための拠点づくり」となっています。（公財）金沢子ども科学財団は3階に「物理・地学実験室」、「化学・生物実験室」、「算数・数学チャレンジクラブなどの教室」と財団事務局がおかれ、1階には「子ども科学スタジオ」が入居します。月曜日の休館日を除き、いつでもたくさんの皆さんの見学・参加をお待ちしています。

（記　瀧本 昭事務局長）

平成30年度　実施事業の報告

おもしろ実験・観察教室

財団の実験室や野外での活動を通して、物理・化学・生物・地学の各分野の教室を実施しています。
3年生と4年生は年12回、5年～中学生は年10回の教室を毎回募集して実施しています。
子ども科学スタジオを卒業した未来の科学者の皆さんに参加していただきました。
これからも科学好きな子ども達にたくさんご参加いただければと思います。

3・4年生教室
「とける」って何?

発泡スチロールにリモネンを入れたらとけたのがすごかった。水と油に、洗剤が混ざったのがおもしろかった。

5年～中学生教室
空気砲

空気砲から出るのは、うず輪というものでした。うず輪ができる仕組みやうず輪とうず輪を衝突させてどうなるかなど実験できて楽しかった。

特別講座
角間の里山自然探検 秋教室

山に登っていく途中にキノコを見つけてびっくりしました。拾った木の枝でバードコールを作ることができてうれしかった。

化石を探ろう
手取層

化石をいっぱい見つけることができてよかった。シジミ、木の化石、葉の化石を見つけた。

年間講座

児童科学教室

1年間の受講生を募集して行う科学教室で、小学5・6年生対象の事業です。泉、中央、明成の3教室で198名の児童が学びました。

今年度は、2月16日の修了式をもって終了しました。

サイエンスクラブ

1年間の受講生を募集して行う科学教室で、中学1～3年生対象の事業です。

今年度は35名の生徒が所属し、年間10回開催されました。指導員の先生方による実験や宿泊研修の他、自由研究に取り組んだり、大学で最先端の研究を学ぶなど、とても充実した活動となりました。

算数・数学チャレンジクラブ

1年間の受講生を募集して行う算数・数学の教室で、小学5・6年生と中学生対象の事業です。

今年度は、160名の小学生と99名の中学生が受講しました。今年は小学校から継続して受講する中学生が多く、中学1年生の受講者数が過去最高でした。

学校の算数・数学とはひと味異なり、「地図は何色でぬれるか?」「立方4目並べ」「クロスパズル」のように、制作活動やゲームやパズルなどを通して、楽しみながら知恵を絞り、頭に汗をかいています。「算数する心」や「数学する心」が育ってきているクラブ員が年々増えています。

【クラブ員の感想】

平面での4目並べだと、全体が見えて相手が次にどのような手を打ってくるか想像できるけど、立体4目並べだと見なければいけないところがたくさんあり、自分がどこに置けばいいか見当がつかなかった。並べ方が76通りもあるなんてびっくりしました。

【クラブ員の感想】

公式だけで考えるより実物を作成して考えた方がよかった。私は空間図形の分野が苦手なのでこれから頭でイメージして組み立ててみたいと思いました。最終的には実際に作ります。また、一人で考えて難しいかったとき、隣の人と一緒に悩みながら話しながら考えることができました。

科学研究作品展

子どもたちが主に夏季休業期間中に行った研究作品を展示しました。市内小中学校から小学生884点、中学生185点の計1,069点の応募がありました。期間中、2,511人の参観者で賑わいました。

場所
玉川こども図書館

期間
平成30年
11月17日(土)～25日(日)

【参観者の感想から】

- 力作が多く、研究の大変さと奥深さを感じた。日常にも役立つ、身になることばかりだった。
- 毎年、みんなが頑張っているのを見て、来年こそは自分の子供にも頑張ってほしいと、見に来ます。
- 継続して研究している子供たちが多く驚いた。同じテーマでも人が変わるとアプローチが違ってきて面白かった。
- 展示されることで今後の励みになった。

科学研究口頭発表会

子どもたちが自分の研究について口頭発表する会で、子どもたちの発表能力を育成し、さらにその発表へのコメントを得ることで研究発展への応用力を育成していこうとするものです。

発表会は23タイトル、23人の小学1年生～中学3年生が参加し行われました。

場所
玉川こども図書館

開催
平成30年
11月24日(土)

【参加者、参観者の感想から】

- 今日のためにいつも頑張ってきました。緊張したけど、練習通りやったら緊張しないようになりました。
- 分かりやすい流れで発表できた。研究についてもう一度考えることができたから、また発表したい。
- みんなの発表は工夫がたくさんありました。
- 発表の前に学生さんにチェックをしていただきました。丁寧に的確に指導していただきました。(保護者)

子ども科学スタジオ

未就学の年長児から小学校1・2年生の児童を対象に、科学実験や自然観察を毎週土曜日に年間45回実施し、3,800名を超える多くの方々にご参加いただきました。

活動は毎週異なる内容で設定され、午前と午後の2回ずつ開催しています。スタジオでは身近にある物を利用したものづくりや、それを使った科学遊びや科学的な内容についての実験などのほか、年5回野外での自然観察会も行いました。

内容としては、音・光・空気・水・力・化学変化・電気などによる身の回りの現象や、動植物・化石・宇宙などをテーマとしたいろいろな実験や観察を行っています。これらを通じて、科学や自然のおもしろさ・不思議さを感じ、親しみを持ってほしいと願っています。

また、今年度はこなん水辺公園で、この地域だけに生息するスジアカクマゼミを観察したり、昆虫採集をしたりする自然観察会を初めて開催しました。

【利用者の感想から】

- ホバークラフトが、かんたんにつくれるなんてすごいなとかんじました。くうきがいっぱいはいったほうが、よくすべるとおもっていたけれど、すこしすくないほうが、よくすべるからびっくりしました。（小学2年生）
- 3年間スタジオに参加し、親子で様々な経験をして、とてもいい時間を過ごせました。スタッフの皆様の科学が好き、子どもたちにその楽しさを伝えたいという思いを感じる子ども科学スタジオのお陰で、子どもは科学の不思議が大好きな子に育ちました。ありがとうございました。（小学2年生保護者）

◆ 子ども科学スタジオ・オープンスクール

保育園・幼稚園年長児や小学生を対象とした校外活動の一環として、平日に子ども科学スタジオで実験教室をおこなっています。児童館や子ども会での参加も受けています。

【利用者の感想から】

詳しく分かりやすい説明で、子どもたちが最後まで楽しめたと感じました。紙コップの加工を失敗して泣いていた子に対し、代わりの物をすぐに用意していただき、笑顔が戻ったのが印象的でした。帰園後もそのことを覚えており、嬉しかったと話していました。他の子も楽しかったようで、「お母さん、今度一緒に行こう」と話しており、いい経験になったと思います。（年長児担任）

交流事業

財団では科学やものづくりへの興味を持っていただけることを期待し、大学やその研究室、企業等の実施する社会貢献活動に協力・共同した科学教室や講演会等を開催しています。

今年度もテクノパーク科学教室（日機装「腎臓のはたらき」、横河電機「放射温度計をつくろう」）などを開催し、多くの方にご参加いただきました。

科学相談

小学３年から中学生を対象に、科学研究に興味を持ち、研究の進め方のアドバイスを受けたい「ジュニア科学者養成講座・中期」には10名の応募がありました。

また、夏休み中の学校に児童の科学研究の相談に出かける「出張科学相談」を8校13回実施しました。加えて、保護者からの電話相談は2件受けて、研究のまとめに役立ててもらうことができました。

【利用者の感想から】

- 今までの自由研究よりもちょっとした工夫や、やり方を付け加え、よりよい作品を目指していたので、とてもよかったと思う。研究の楽しさ、実験の難しさを改めて実感できたので、これからの勉強に生かしたい。
- 子どもの考えに寄り添っていただき、考察する際に、より自分の考えを深めることができたように思います。専門的な知識と経験からご指導いただきました。（保護者）

出前科学スクール

おもに保育園や幼稚園、小学校の保護者会などからの申込を受けて行う出前型の教室です。

今年もたくさんの方にご利用いただきました。

【利用者の感想から】

スライムを作ろう

液を入れたらスライムができてきて歓声が上がりました。作り方も大変分かりやすく、子ども達も最後まで集中して楽しんでいました。

特別事業

ジュニア科学者養成講座　長期

子ども科学財団既存事業の児童科学教室、サイエンスクラブ、科学研究作品展、科学研究口頭発表会等に参加している子どもたちの中から、優れた科学研究をし、さらに深く研究したいという意欲を持つ子どもたちをバックアップする取り組みを実施しています。

期間は5月中旬から8月末まで、12単位・36時間を基本に、金沢大学大学院生や学生に指導をいただき、研究をしてきました。

今年度は、小学生6名、中学生4名の応募があり、5月から研究を開始しました。市作品展では優秀賞8点、県作品展では特別賞（県知事賞2点、県教育委員会賞１点、県科学教育振興会長賞2点）優秀賞3点、また、全国展ではシゼコンで継続研究奨励賞を受賞しました。

算数・数学オリンピック支援講座

算数オリンピックや広中杯などに挑戦する志の高い児童・生徒を支援します。年間１１回行い、難問に挑んでいます。今年度のクラブ員は７０名、算数オリンピック検定挑戦者は５０名でした。その内２名が見事地方大会を通過し、全国大会に出場し大健闘しました。また、12月には「世界平和パズル・平面3×3ますから立方体を完成」という特別講座を開催し、「考える・楽しむ・あきらめない・できる」を体験し数学の深さを実感しました。

【クラブ員の感想】
今日僕は本当に数学の楽しさに気づきました。「できる」と思うことで、できないと思われていたことも「できる」という数学の「発見」のおもしろさを感じることができました。まだ、確かめている途中ですが、あきらめないで「発見」できるよう努力します。

産業・文化・教育から科学を学んでみよう

金沢の文化・産業・教育の中からわたしたちの身のまわりにある科学を見つけ出し、科学だけでなく郷土の素晴らしい一面を学ぶ機会とします。

宗桂会館で、真ちゅうの板に銀線を打ち込み、オリジナルのキーホルダーを制作しました。伝統工芸体験を通して、加賀象眼に潜む科学的要素を楽しく学びました。

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)教室 SGH(スーパーグローバルハイスクール)教室

中学生向けの体験教室として、SSH指定校の金沢泉丘高校では理科で、SGH指定校の金沢大学附属高校では数学の分野で、それぞれのカリキュラムの特色ある講座を実施しました。SGH教室は数学チャレンジクラブの講座として行い、一般公募の中学生も参加しました。

この財団だよりに掲載している事業への参加者数などの資料は財団ホームページに資料編として掲載しております。併せてご覧ください。

財団では寄附を募集しております

当財団は、主に金沢市に在住する児童生徒等の課外における科学的な活動などを支援するとともに、その普及・発展に努め、科学の心を育むことを目的に、「児童生徒等を対象とした課外での科学に関する活動」、「児童生徒等の科学の心を育てるための普及啓発活動」、「科学に関する諸団体や国内外の児童生徒等との交流活動」を柱とした事業を実施しています。また、これら事業の高い公益性が認められ、「公益財団法人」として、平成23年４月より運営を行っております。

事業に必要な資金は様々な団体からの助成金や事業参加者からいただく参加費、そして財団が所有する限りある基金を取り崩して行っております。教育普及活動は一朝一夕で成果のあがるものではなく、長期にわたり継続していくことでその効果が発揮できるものと認識しております。こうした意義ある事業を今後とも継続発展させ、一人でも多くの子どもたちの科学の芽を育てていくためには、多くの皆様方からの温かいご支援が不可欠と考えております。

なお、公益性の高い団体へ行われる“寄附”はその寄附者に対し、税制上の優遇措置が認められています。財団では、多くの方々からのご支持、ご寄附をいただき、もっと多くの子どもたちに事業へご参加いただける環境づくりのため前進していきたいと考えております。

以上、当財団の事業活動にご理解とご賛同をいただき、是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

公益財団法人 金沢子ども科学財団だより
第16号
平成31(2019)年 4月発行

公益財団法人 金沢子ども科学財団
〒920-0913　石川県金沢市西町三番丁16番地
Tel：(076)221-2061　Fax：(076)221-2062
メールアドレス kodomokagaku-z@kanazawa-city.ed.jp
ホームページ http://www.kodomokagaku.or.jp/
フェイスブック https://www.facebook.com/kodomokagaku

▶その他詳しくは、お電話でお問い合わせもしくは、財団ホームページをご覧ください。　金沢子ども科学財団　検索

西町三番丁16番地

尾張町２丁目12番１号
柳宗理記念デザイン研究所(旧菓子文化会館)３階